

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	河内長野市地域福祉推進協議会
2 開催日時	平成30年8月23日(月) 14:00~16:00
3 開催場所	河内長野市役所3階 301会議室
4 会議の概要	<p>1. 第3次地域福祉計画・第2次地域福祉活動計画 平成29年度取り組み状況及び評価について</p> <p>2. 平成30年度の主な取り組みについて</p> <p>3. その他</p>
5 公開・非公開の別	公開(途中入場は不可)
6 傍聴人数	2人
7 問い合わせ先	保健福祉部 いきいき高齢・福祉課 (内線 257)
8 その他	

平成30年度 河内長野市地域福祉推進協議会 会議録(要旨)

■日時・出席者等

日 時：平成30年8月23日(木)14:00～16:00

場 所：河内長野市役所3階 301会議室

出席者：委 員 久 隆浩 (近畿大学教授)
農野 寛治 (大阪大谷大学教授)
吉村 禎二 (河内長野市社会福祉協議会会長)
千田 利勝 (河内長野市民生委員児童委員協議会会長)
玉崎 和実 (河内長野市地区(校区)福祉委員会委員長連絡会会長)
西村 道夫 (NPO法人はぴえる理事長)
竹川 康文 (河内長野市身体障害者福祉会会長)
山田 昭儀 (河内長野市老人クラブ連合会会長)
外山 佳子 (河内長野市医師会副会長)
山本 淑子 (河内長野市地域女性団体協議会会長)
吉田 妙子 (河内長野市人権協会副会長)
事務局 洞淵 元秀 (河内長野市保健福祉部長)
亀井 則彦 (河内長野市保健福祉部理事兼福祉事務所長)
中橋 栄一 (河内長野市保健福祉部いきいき高齢・福祉課長)
山内 康弘 (河内長野市保健福祉部いきいき高齢・福祉課課長補佐)
南 加奈子 (河内長野市保健福祉部いきいき高齢・福祉課地域福祉係長)
浦田 尚代 (河内長野市保健福祉部いきいき高齢・福祉課主査)
土橋 崇之 (河内長野市社会福祉協議会地域福祉課長)
松下 剛士 (河内長野市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係長)

■会議録(要旨)

開 会 (司会：いきいき高齢・福祉課長)

- ・出席数確認 (11人) → 過半数以上で会議成立
- ・洞淵保健福祉部長あいさつ

案 件

1. 第3次地域福祉計画・第2次地域福祉活動計画 平成29年度の実施状況及び評価について

<資料1参照>

会 長	事務局より説明を。
事務局	資料1に基づき説明
会 長	それでは、評価(案)についてご意見をいただきたい。

委員	評価資料が昨年の指摘により数値等が記載されており、良くなったように思う。認知症サポーター、パートナーの養成等についてかなり積極的に取り組まれているのがわかる。昨年の新聞にも全市職員がサポーターに、また、目標として小学生以上の市民をサポーターに、という記事が載っていた。取組の成果は大きいと感じる。
委員	①地域団体同士の連携がまだ足りていないという記載があるが、どのあたりが足りていないか具体的に教えてほしい。 ②生活困窮者自立支援事業で、就労支援について「るーぶらざ」に協力してほしいと依頼があったが、こんなに相談件数があるということは知らなかった。この内容について具体的に教えてほしい。 ③消費者保護の充実で、高齢者を対象にした詐欺について具体的にどのような対策をしているか。
事務局	①連携については、事業所、商店などとの連携の可能性があるが、あまり進んでいないのが現状。今後は事業者も意識しながら他団体へ連携を呼びかけていきたい。
事務局	②生活困窮者自立支援について、現在相談員を2人配置している。相談は1回で済むものではなく、一人に対して何度も行うため、件数が多くなる。相談者の数で言えば、もっと少なくなる。まずは相談を受け、内容により家計相談や就労支援、学習支援につなぎ、自立に向けた支援を行っている。それでもうまくいかない場合は、生活保護へつなぐこともある。
事務局	③高齢者の詐欺被害が多いと聞いているので、高齢者向けに詐欺被害防止のチラシ配布などを実施している。市役所を騙った還付金詐欺などもあり、そういった情報が入ってきた場合はHPなどを活用して速やかな周知に努めている。
会長	商店などとの連携について、商業者自身が地域福祉に貢献することが、商業の活性化につながることを意識していない。産業や商工部署と連携して進めればスムーズにつながる事もあると思う。 お客さんと顔が見える関係の中でうまく対応できるのは、個人店の良いところ。商店街は見守りもできる、いざというときは地元商店街の方が良いということアピールすれば良い。また、それが商店の活性化につながっていく。
委員	大阪市の役所窓口で、芸人が出演している詐欺被害防止のビデオが流れていた。そんな風に高齢者にわかりやすいビデオを流すなど、工夫してはどうか。
委員	市役所1階の窓口でも流してはどうか。
事務局	社協にも啓発ビデオがあるので、各団体でも是非活用を。
委員	そういった資源について、どこに何があるかがわかるようになっていれば、もっと良い。
副会長	成人年齢が18才になり、大学生にも消費者被害等について教育をという話があった。高齢者だけの問題ではないので、HPなどでも流していただければ学生も見ることができる。 災害時に子どもだけが家に取り残されているという事態が起きている。子どもを預かるリスクもあるが、災害ボランティアなどの活動がもっと表に出ても良いよ

	うに思う。また、災害ボランティアの数が地域によってバラツキはないのかという事が気になる。
委員	富田林の犯人逃走の事件を受けて、河内長野市の学童の送迎を家族がすることになり、大変な負担だと聞いている。災害時のあるなしに関わらず、近所でサポートできるような仕組みが整っていればと思う。
事務局	災害ボランティアの主な役割は、災害ボランティアセンターの運営に携わってもらうことで、災害時のちょっとしたお手伝いのニーズはなかった。 また、地域のばらつきという意見があったが、他市からの支援を想定しているので地域での活動は想定していなかった。今後、対応が可能か考えている。
委員	防災関係での情報提供。今年は暁光高校、まちづくり会に協力してもらって、かまどベンチを暁光高校と楠小学校に設置した。そのお披露目も兼ねて千代田中学校区の健全育成会と「防災デイキャンプ」を実施した。野外活動的なものだが、中学校と消防団にも来てもらい、若い人を中心に防災訓練を実施した。若い人（30代ぐらい）を引っ張り出すには、子どもを対象にするのが良い。
委員	南花台で子育てサロンを立ち上げ、今は福祉委員会と一緒に事業をしている。また、新たな事業（ファミリーサポート事業）も開始し、そのための広い活動場所として薬局跡地を借りられるようにはなったが、どこからも資金面での支援をしてもらっていない。資金がなくクーラーなどの設備が整わないため、なかなかオープンできない。
事務局	高齢者の生きがいづくりや介護予防を含めた事業であれば、「ふれあい活動事業助成金」や「地域介護予防活動支援事業助成金」を活用してもらえる。
会長	市からだけでなく、財団、民間の助成金などもたくさんあるので、それらの活用も検討してはどうか。社協や「るーぷらざ」で情報提供してもらえれば。
副会長	地域子育て支援事業でも拠点に対する支援をしていたと思うのでそういったものの活用を考えてみてはどうか？
委員	空き家に対する補助制度は、どうなっているのか？光熱水費などのランニングコストに対して補助をしてもらえるのか。
事務局	空き家をコミュニティ活動に活用する場合のリフォームなどの費用に対して、2/3（上限100万円）の補助がある。空き家の改修補助のため、ランニングコストは補助対象にはならない。
会長	ふらっとスペース金剛では着々と子育て支援の拠点を増やしている。うまく事業を展開している団体は、たくさん情報を集めて、いろいろな資源（補助金）を組み合わせて活用している。そうするためにも、たくさん情報を集めてほしい。
会長	情報提供を2つ。 ①若年層の防災活動参加について。「あいつく」で子育て中のお母さんを対象にした防災手帳を作っていて、これはおもしろい取組だと思う。この延長で、お母さんを対象に防災事業をしてみてもどうか。三田市や茨木市の「女子防災部」の取り組みが参考になると思う。河内長野市でも「あいつく」と連携して女子防災部を立ち上げてみてはどうか。 ②CSWについて。CSWが地域のコーディネーター役としてこれからますます重要になってくる。茨木市の例で、CSW自身が「CSWの認知を進めたい、専門職、地域の

	団体などつながっていきたい」という思いを持っていて、地域福祉のフォーラムを開催するなど活発に活動している。そういった活動の中で、商工会議所ともつながりを深めている。商業者が地域福祉に貢献している、見守りをしているような事例などを紹介することで、機運が高まっていく。何より、CSW自らが企画し、準備・開催しているのが素晴らしいと思う。河内長野市でも実施してはどうか。
事務局	ありがとうございます。今後、CSW連絡会で検討したい。
委員	多職種の情報交換・連携の場として、れんけいカフェを実施している。先日開催した際には、CSWも参加いただいていた。そういった連携の場をぜひ活用してほしい。
会長	より質が上がっていくことを期待する。 評価資料についてはこれで良いか？ 総合評価については、事務局まとめるので後日確認を。

2. 平成30年度の主な取り組みについて

<資料2>参照

会長	事務局より説明を。
事務局	資料2に基づき説明
会長	それでは、平成30年度の取り組みについてご意見をいただきたい。
委員	地域福祉かどうかはわからないが、キックス（1階ロビー）でボランティア体験プログラムやフェスティバルのPRをしたいが、させてもらえない。以前はできていたものが、指定管理になってからできなくなった。せっかく「市民交流センター」という名称がついているので、本当の意味で交流できる場にしてもらえたらと思う。
会長	管理者の事情なのか、主管課の事情なのかわからないが、できるだけオープンにしてもらえたらと思う。 先ほども話題に上がった「れんけいカフェ」で、いろんな人がふらっと集まり、情報交換できる場があるのは良い、今後充実を期待している。

3. その他

会長	各団体情報提供などあれば。
委員	ボランティア入門講座をキックスで実施した。その中でSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) とは何か、という勉強をした。とても好評だったし、先進してできたと思う。市でもSDGsを意識した取り組みをしてほしい。
会長	SDGsとは、持続可能な社会をつくっていこうということ。 持続可能となると、環境を意識することが多かったが、それだけでなく人権、男女共同、経済の活性化など多分野があわさって初めて持続可能な社会になっていくということ。これを意識して、多職種連携していけば面白いものになると思う。

委 員	れんけいカフェに行政の相談窓口担当などいろいろな方が来ていただければと思う。また、専門職対象としているが、ボランティアの方にも是非参加していただきたいと思う。
会 長	肩書なしで、情報交換をしたり、悩みを打ち明けることで、まわりの支援を受けることができる。各団体代表者が形式的に出席するというだけでなく、現場の生の声で情報交換ができればおもしろい場になる。
委 員	市内には、外国人が500人ぐらい住んでいる。地域福祉の事を英語版でも公表してもらえたらと思う。民生委員児童委員協議会では、英語版の情報誌を発行した。今後、KIFAと連携したい。
会 長	英語だけでなく多言語で発信してもらえたら。

・事務局から事務連絡（会議録の公表のお知らせと文面校正のお願い等。）

閉 会

(終)